

1. 説明会の概要

【第1回】 11月15日（木） 19：00～ （参加者：56名）

【第2回】 11月16日（金） 19：00～ （参加者：54名）

【第3回】 11月17日（土） 13：00～ （参加者：49名）

2. 主な質疑応答

（1）学校施設について

**Q：教科教室の間に仕切りはあるのか。1～3年生で英語の授業が同時に行われる際、3つの学年が同時に教室に入るのか。**

A：教科教室の間に仕切りはあります。それぞれ独立しているので、学年・学級ごとに教室に入って授業を行います。

**Q：教室に扉はあるのか。冷暖房はどうなるのか。**

A：教室に扉はあります。エアコンも全教室に設置しています。

**Q：ホームベースのロッカーに、カギがあるのか。**

A：すべてのロッカーにカギはつける予定にしています。

**Q：教科教室の掃除はどうなるのか。**

A：現在も教室だけでなく、他の場所もエリアに分けて清掃しています。新校舎でも同様に、分担して清掃していく予定です。

**Q：新しい校舎を使うまでの開校前の春休み中に、保護者や地域の方を対象に学校見学の場を設けてもらえるのか。また、授業参観の日数を増やすということはあるのか。**

A：2月15日に工事が終了し、それ以降に備品を搬入する予定です。その後、3月末に保護者や地域の方に来ていただく内覧会を予定しています。

また、授業参観もたくさん開催する予定です。地域に開かれた学校をめざしていますので、どんどん学校に来ていただきたいと考えています。

（2）教室移動について

**Q：教室移動が多いと、授業の用意やトイレの関係で授業に遅れてしまい、教室に入りにくくなる子もいると思う。そのような子どもの支援・サポートをしていただきたい。**

A：校舎がコンパクトになるので、教室移動の負担は現在より減ると考えています。また、教科コーナーに先生がいるので、生徒の様子について先生同士で連絡を取りあう中で、そういう子どもたちをサポートしていきたいと思います。多くの教職員で関わっていくということを、一番大事にしていきたいと思っています。

**Q：**授業開始時に集まらない生徒もいると思う。そのために授業が始まらないということがないようになるのか。

**A：**現在、教室移動の際に遅くなってしまう子や配慮が必要になってくる子はいると考えています。  
そのような子どもたちについては、ホームベース前の学年ラウンジや教科コーナーなど先生が廊下にいつも居るということが新校舎の最大の特徴なので、子どもたちを支援しながら教室に移動するということを丁寧に対応していきたいと思います。  
授業に来ていないということであれば、近い距離に他の先生がいるので、様子を見に行くなどして、どの生徒もしっかり授業に参加できるように支援していきたいと考えています。

### （３）学習環境・授業の内容について

**Q：**教科センター方式になるが、学習内容は今までと変わりはあるのか。

**A：**授業などにおける学びの質を高めていくことになりますが、学習内容は今まで通り、指導要領に従い教科書に沿ったものです。

**Q：**「授業中、先生は教えてくれない。『友達に聞け』と言う。生徒の間では、塾に行っている子が教えてくれる。」とか「学校の授業だけではついていけないので、塾に通わせないといけない。」という話があると聞いた。自分の周囲の保護者も同じような不安を抱えている。

**A1：**学校では、アクティブラーニングの授業だけを行っているのではなく、通常の知識を教え生徒が学ぶという授業も行っています。アクティブラーニングの授業は、１週間の内に数時間は行っていますが、知識をしっかり教える授業も大事にしています。

アクティブラーニングの授業では、最初にこの時間の「めあて」と「課題」を生徒に提示します。それから、生徒同士による意見交換を中心に、授業を展開していきます。生徒同士の話し合いの中で、教える側の生徒は課題解決の筋道を整理することができ、教えられる側の生徒は情報を受け取る力が身につくということが、利点として挙げられます。実際に、（全国学力・学習状況調査の結果を見ると）本校全体の学力は、ここ数年間上昇しています。課題によって教え教えられる立場が入れ替わり、生徒間で能動的な動きをつくる、そのような積み重ねが大事であると考えています。理科の授業で実験を実施するときなどは、昔からこのような教え合いをしており、特別な授業スタイルということではありません。

学校としては、もちろん教職員の授業の質を高めていくことも、早急に必要であると考えています。

### （４）人間関係・学級集団づくりについて

**Q：**今までは、子どもたちが教室ですごし授業を受けていたので、連帯感などが育まれ、先生も集団を作ることを大切にしてきたはずだが、教科ごと教室が変わる中で、子どもたち一人ひとりをどのように見てくれるのか。

**A2：**ホームベースは学年かためて配置されており、廊下も学年で使うことができます。先生がホームベースに行き、生徒と話をします。先生と生徒との距離が近いことが、最大の特徴です。  
生徒数が減少するので、先生が１年生から３年生までの子ども全員の名前を覚えて関わること

ができると考えています。教科センター方式になれば、今まで以上に、職員みんなで子どもたちにかかわっていくということが進むと考えています。

学年の先生の話し合いは、いろいろなスペースを使っていきたいと思います。

#### <ご意見として>

移動教室でどこに座ったらいいのかという不安を抱えている子どもたちがいるのではないかな。

アンケートに書いていた生徒もいると思うが、安心できる場所を教科の中で作っていただきたい。

#### (5) その他

**Q：**教科ごとに部屋を移動するということだが、ある高校でスマホを持たせてもらわないと困ると言われたらしい。スマホを持たせてほしいということはあるのか。

**A：**今後これからの時代の流れとして（授業で活用するなど）必要となるときが来るかもしれませんが、現在は大阪府教育委員会の方針に沿ってスマートフォンはもたせていません。

**Q：**通学時の自転車のヘルメットの形は決まっているのか。自転車通学の許可などきまりはあるのか。

**A：**現在、自転車通学はすべて認めています。自転車を利用する場合は登録制とし、ヘルメットの着用は義務化しています。ヘルメットはSGマーク（財団法人製品安全協会規格）のついたものであれば形態は指定していません。ちなみに、学校が推奨しているものは2500円です。

**Q：**夏休みぐらいが適当かと思うが、新校舎での1学期の状況を踏まえ、主には市内全中学校の先生、小学校の先生も交えて、交流・意見交換をする場を設定してはどうか。

**A：**いただいたご意見を参考に、そのような場を検討していきたいと考えています。